

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8354
担当部課名	保健福祉部	高齢者福祉課		
事務事業名	ひとり暮らし高齢者等給食サービス事業		事業コード	11210

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第2節	いきいきとした高齢社会の創造	2年度
施策名	第1施策	地域ケアサービスの充実	

2 実施根拠及び関連法令等

国 介護予防・生活支援事業実施要綱 配食サービス事業 相模原市ひとり暮らし高齢者等給食サービス事業実施要綱
--

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
在宅の要介護高齢者及びひとり暮らし高齢者等に対し、定期的に栄養のバランスのとれた食事を居宅まで届けるサービスを提供することにより食生活の維持向上を支援するとともに、安否の確認、孤独感の軽減等を図り、生活の自立支援に資することを目的とする。		市内に居住するおおむね65歳以上の者及び重度障害者	
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
<ul style="list-style-type: none"> サービスの利用決定：保健福祉総合相談課 サービスの提供：相模原市社会福祉協議会に業務委託 週4日(月・火・木・金)の夕食を配食 延べ利用者数 12,427人 実利用者数 1,091人 延べ調理職数 183,021食 		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	相模原市高齢者保健福祉計画
計画年次	12年度～16年度	給食サービス	

4 評価指標

指標名	対前年実利用者伸び率		
指標式	当該年度実利用者 / 前年度実利用者		
指標設定の意図	事業の必要性		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a 115	b 110	110	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	129,803	143,082	162,200	176,700	
	人員・時間数		(10時間)	(5時間)	(5時間)	
	人件費		42	21	21	
	その他経費					
	合計	0	129,803	143,124	162,221	176,721
特定財源		93,559	107,312	121,650	132,525	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 104.5%
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} \times 100 = 104.5\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
------------------------------------	----------------------------	----------------------------

理由：ひとり暮らし高齢者等の増加に伴い、需要も増えているため

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由：ひとり暮らしなどで食事が作れない高齢者に食の支援をしたり、安否確認等により生活支援をすることは高齢者の自立支援に役立っている
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由：配食協力員による安否確認や孤独感の軽減等を考慮している
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由：食の確保という点では民間の給食業者を利用することが考えられるが、安否確認や孤独感の軽減等の効果を考えると現状の配食協力員は有効である
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 B ▼	A : 満足できる	理由：週4回をそれ以上の配食回数に増加させるの要望があるが、現状の調理施設では配食数の面で限界に近い
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由：ひとり暮らしなどで食事が作れない高齢者に食の支援をしたり、安否確認等により生活支援をすることは、在宅支援を進める上で高齢者の自立支援の促進を図れる
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 社協の他に民間業者で同様の金額で対応する業者に委託する
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> 民間業者で安否確認等のサービスに対応する業者に委託する

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	・月～金で昼食か夕食を選択 ・月～土で昼食か夕食を選択 ・費用 400～450円
		(本市) ・週4回(月、火、木、金)夕食を配食 ・費用 1食400円
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	核家族化が進む中で在宅で自分の食事を作れないひとり暮らし高齢者等の増加が予想されるので、当該事業を継続し自立生活の支援を推進する
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了	

8 二次評価における変更点